

“輝け！ひぐみっ子” だより

～東汲沢小学校教育目標「学びあい 高めあい まちとともにあゆむ ひぐみっ子」～

☎861-5531 <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/higashigumisawa/>

「わくわく」

副校長 田邊訓志

「ひもを使ってコマを回せる人はいますか？」

ある日の体育館での朝会でひぐみっ子全員に聞いてみました。予想以上にたくさんの手が挙がりました。私は、つい最近までひもを使ってコマを回すことができなかったのに、その数に驚きました。

校内を回った時にも、ホールで1年生が先生と一緒にとても上手にコマ回しをしていました。一人のひぐみっ子に話を聞くと、12月16日の土曜参観・ひぐみっ子地域交流会で体験したコマ回しをきっかけに、もっと上手になりたいと、親子で何度も練習していたそうです。

「もっと勢いよく回したい」「相手に勝ちたい」などの願いをもとに、「わくわく」しながら練習と工夫、試行錯誤を繰り返す。その原動力は、一緒に勝負する相手はもちろん、きっかけを提供してくれたり、回し方を教えてくれたり、励ましてくれたり、成長を喜んでくれたりする「人」の存在です。

コマ回しを一例として挙げましたが、そのほかにも本当にたくさんの方で皆様がひぐみっ子にかかわってくださっています。そしてひぐみっ子にかかわりながら、ご自身もきっと「わくわく」する気持ちをもっていただいている。そのことが、よりいっそうひぐみっ子の「わくわく」を育てている。そんなふうに、私は思いました。

ちなみに、私が人生で初めてコマを回すことができるようになったのも、ひぐみの地域の方に教えていただいたことがきっかけです。これからも、みんなで創る「わくわく」がいっぱいのひぐみを、私自身も楽しんでいきたいと思っています。

日本タンポポ

拠点校初任者指導教員 椎名 哲也

30年ほど前から子どもたちと様々な学習活動に取り組んできました。初めての学校では毎日が本当に忙しく感じられましたが、仲間とのちょっとした会話が学習活動のヒントになったり、自分の思いを支えたりする大切なものになっていました。その時に会ったものが「日本タンポポ」です。日本タンポポは江戸時代の終わりごろまではたくさんあったようですが、外国から食材の一つとして西洋タンポポが日本に持ち込まれるようになり、あっという間に少なくなってしまいました。種のでき方や開花の時期・期間などに大きな違いがあり、仕方がなかったのかもしれませんが、そのことを2年生に伝え、「一緒に育ててみたい！ 増やしてみたい！」という声が上がると、手に入れた日本タンポポの種を蒔いて、育て増やす活動がスタートしました。1年生も参加してくれました。蒔いた種から芽が出て花が咲くようになれば素晴らしいことなのですが、一番素晴らしかったことは、「一緒に育ててみたい！」と言って、みんなと力を合わせて挑戦してくれたことです。大きな壁に向き合い、その壁を登ろうとしてくれたことが素晴らしかったです。学校生活ではいろいろなことがあります。これからもいろいろなことにチャレンジして、最後までやり通そうとする気持ちを育ててほしいです。

新たな連絡ツール『すぐる』導入にむけてご協力をお願いします。

○3月1日より、これまで本校で運用していた連絡ツール『マチコミ』及び『ロイロノート』に代わり、新たな連絡ツール（アプリの名称：『すぐる』）を導入します。『すぐる』は、4月1日に横浜市立全学校で導入されますが、本校は3月1日に先行導入します。導入までのスケジュールは、次のとおりです。ご理解・ご協力をお願いいたします。

- ・1月30日 保護者向けご案内、及び子どもIDの配付。
- ・1月30日～2月14日 各家庭でアプリダウンロード・新規利用登録・子どもの登録・利用者情報入力
※1年生から6年生まですべてのご家庭に登録いただきますよう、よろしくお願いいたします。
- ・2月15日 第1回テストメール配信。試験運用開始。この日より、欠席等連絡は、「すぐる」からお願いします。
- ・2月20日 第2回テストメール配信
- ・3月1日 東汲沢小学校「すぐる」運用開始。（マチコミ・ロイロノートでの連絡は使用なくなります）
- ・4月1日 横浜市立全学校「すぐる」運用開始。